



学校だより

開校記念日特別号

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和2年11月24日

大田区立糀谷中学校

校長 小島 宏一郎

自ら学び考えることができる生徒

感性豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康な生徒

開校記念日（11月24日）にちなんで

～祝 開校67周年～

< 校章の由来 >

稲穂の図案は、糀谷の地に由来しています。日本人の生命と、工業地帯としての生産発展と勤勉を象徴したものです。

< 開校にあたって >

昭和28年、この年はテレビ放送が始まった年でもあります。そして、6月19日に、糀谷中学校の新設が認可されました。

当時、東蒲中学校と羽田中学校の一部の生徒は、教室が足りなかったため、東糀谷小学校で授業を受けていたそうです。

9月1日に糀谷中学校が新設され、生徒数27名でスタートしました。また、二部（夜間学級）は羽田中学校内で開級し、生徒数24名でスタートしました。

校章は、10月30日に決定し、現在のものが受け継がれてきています。

11月14日、学区変更により、東蒲中学校と羽田中学校の2校から748名の生徒が糀谷中学校に編入しました。

11月24日に校舎が完成し、この日を開校記念日としました。

< 地域の方の支援 >

糀谷中学校は、地元有志の皆様のご協力、ご支援があつてはじめて開校できました。具体的には学校の土地や、施設・設備の点にいたるまでです。

また、当初糀谷中学校には体育館はなく、土地を所有していた13軒の皆様方のご協力があつて現在の場所に体育館がつけられました。ご協力がなければ、校庭内に建設することになり、狭い校庭となっていたかもしれなかったようです。

< 開校前の状況 >

本校設立の計画が決定された当時は、糀谷中学校のある土地は、米軍の接収から解除されたばかりでした。また、戦争の傷跡が生々しく、家屋が

点々と建てられ始めましたが、いたるところに草むらがある状況で、一面の荒野といった感じだったようです。

< 開校当時の教育目標 >

- 一 上品で礼儀正しい人
- 二 健康で明るい人
- 三 勤勉で責任を果たす人

< 第7回生の1年生時教科書の値段 >

教科書無償制度は昭和38年に小学校1年生で実施され、以後、学年進行方式で毎年拡大されました。それまでは教科書は有償で、第7回生（昭和34年）の教科書の値段は次の表の通りでした。

中学 国語	137 円
日本の国土	70 円
世界の国々	68 円
新しい数学1	103 円
中学理科1	112 円
中学音楽1	53 円
中学図画工作	67 円
中学保健	74 円
職業家庭	男 93 円、女 73 円
Standard Jack&Betty	70 円

< 二部（夜間学級） >

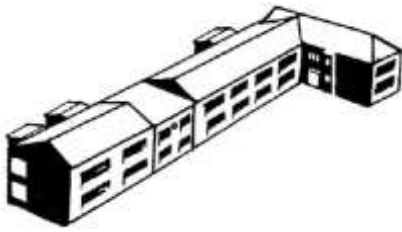
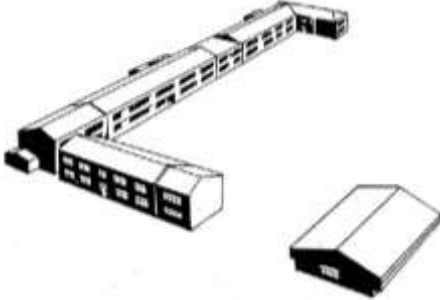
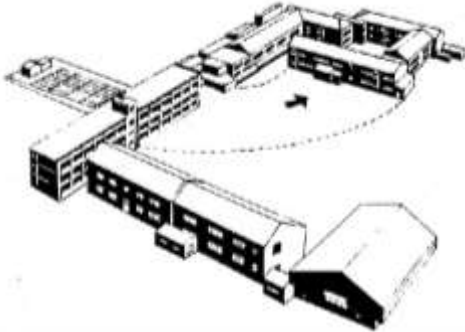
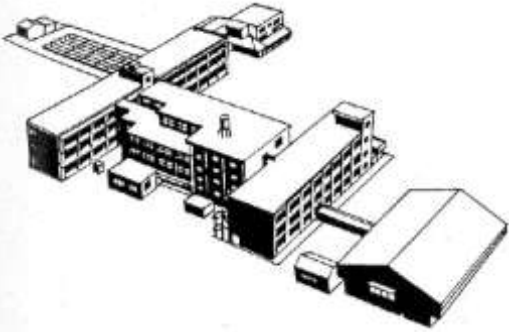
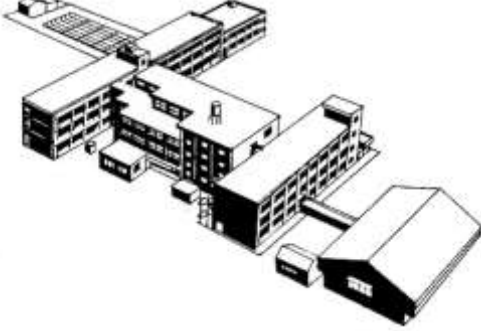

大田区は、戦後の社会的経済的な混乱期で、不就学者や長期欠席者が多かったため、その状況を憂慮して二部（夜間学級）を開設しました。

昭和28年6月の区立中学校の長欠生徒数は314名でした。そのうち、貧困で働いている者や家事手伝いをしているため登校できない者は、164名でした。糀谷中学校に開設した理由としては、戦災の影響が大きく、不就学者が海岸地域に多かったためとされています。

開設当初は、150名を数えることもありましたが、以後は減少し、50数名から20数名の間で推移していたようです。

昭和51年5月には、二部専用の教室ができ、後に改築されて現在にいたっています。

校舎のうつりかわり

昭和28年度（当時）	昭和33年度
	
昭和46年度	昭和49年度
	
北校舎（鉄筋）完成 （プールは昭和36年に完成）	現在の校舎のほとんどが完成 木造校舎を取り壊す
昭和58年度	平成5年度
	
北校舎増築	現在の姿（体育館改築は平成3年）



←昭和48年頃に撮影された航空写真です。現在の校舎がほぼ完成し、木造校舎もまだ取り壊す前で残っています。当時の学校周辺の様子も現在とは大分変わっていることが分かります。